

【概要】

岡山市部活動地域移行に関するアンケート調査結果



令和6年3月

岡山市教育委員会

岡山市市民生活局

令和5年度岡山市部活動地域移行に関するアンケート調査の概要

1 調査目的

本市の教職員・児童生徒及びその保護者の部活動に係る意識や実態、部活動地域移行に対する考え方等を把握し、円滑な地域移行をめざして、今後の検討資料とするため調査を実施する。

2 調査主体

岡山市教育委員会・岡山市市民生活局

3 調査対象

対象	対象数	回収数	回収率
小学校6年生	6,261	3,642	58.2%
中学校第1学年	5,707	3,487	61.1%
中学校第2学年	5,606	3,587	64.0%
中学校教職員	1,171	736	62.9%
合計	18,745	11,452	61.1%

※保護者 2,690 名の回答

4 調査方法

WEB調査

○教職員及び小中学生：個人配付のクロムブックからの回答

○保護者：二次元バーコードを読み取り、スマートフォン等からの回答

5 調査期間

令和5年11月～12月

6 調査設問

(1) 児童生徒

小学生（6年生）		中学生（1・2学年）	
1	属性①（学校区）	1	属性①（学校区）
2	属性②（地域活動参加状況）	2	属性②（学校種別・学年）
3	属性③（入学後の部活動希望）	3	属性③（部活動参加状況）
4	属性④（入学後の希望部名）	4	属性④所属部活動
5	部活動の目的	5	部活動の目的
6	休日部活動の指導者	6	部活動の問題点
7	地域活動への参加意思	7	部活動未加入の理由
8	地域活動の指導者	8	休日部活動の指導者
9	地域活動の参加条件	9	地域活動への参加意思
10	地域活動希望種目	10	地域活動の指導者
		11	地域活動の参加条件
		12	地域活動希望種目

(2) 保護者（小学6年生、中学1・2学年）

保護者（小学保護者内容）	
1	属性① 学校区・所属・学年（学校区）
2	属性② 部活動参加状況 （入学後の部活動希望）
3	部活動の目的
4	部活動の問題点
5	地域移行への賛否
6	地域移行での不安材料
7	地域移行の課題
8	地域活動への参加意思
9	地域活動の活動内容
10	地域活動の指導者
11	保護者の指導者としての関わり
12	妥当な費用負担
13	意見（自由記述）

(3) 教職員（中学校）

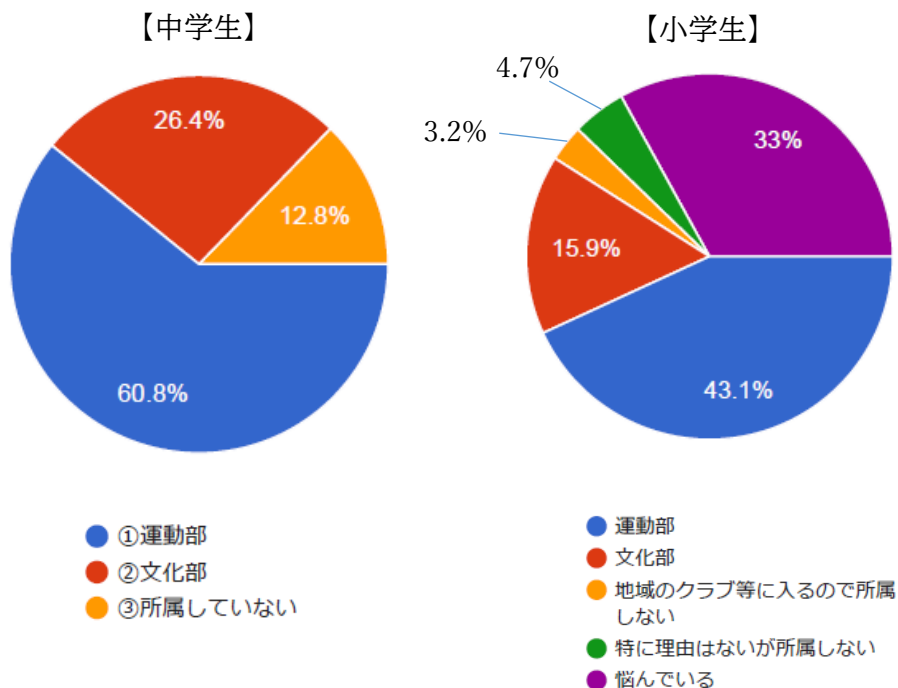
教職員（中学校）	
1	属性①（年代）
2	属性②（顧問の有無）
3	部活動指導状況（やりがい）
4	部活動指導状況（負担）
5	部活動の問題点
6	部活動の在り方を変える必要性
7	6の理由
8	地域移行への賛否
9	地域移行での不安材料
10	地域移行の課題
11	地域クラブ活動への従事希望
12	従事しない理由
13	希望従事場所
14	意見（自由記述）

7 調査結果の概要

I. 部活動に関する意識等

(1) 児童生徒・保護者

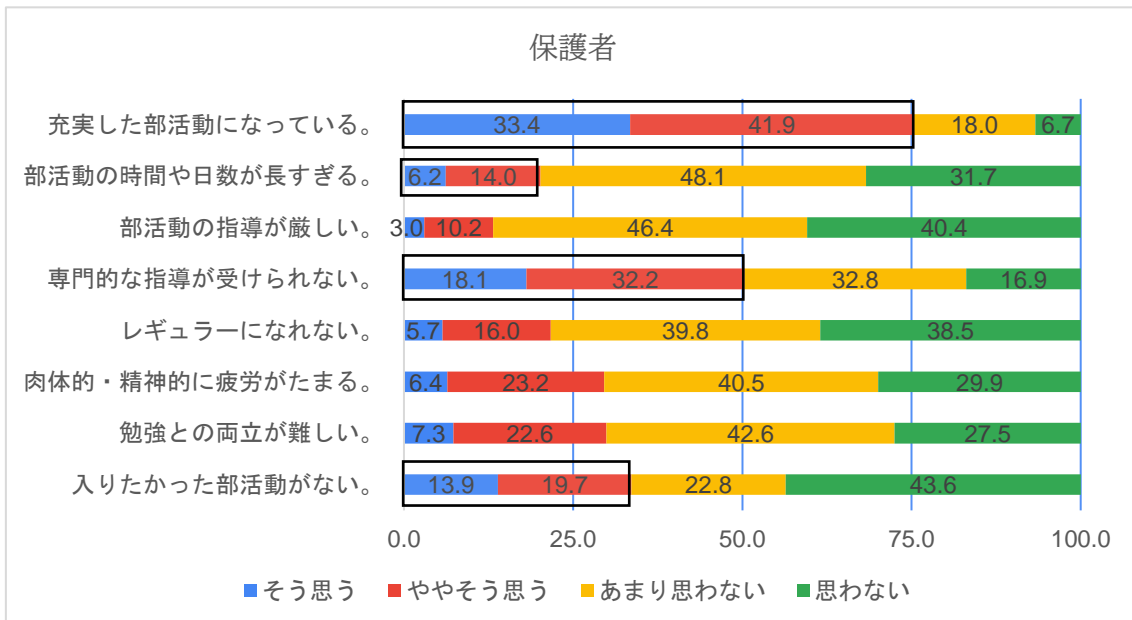
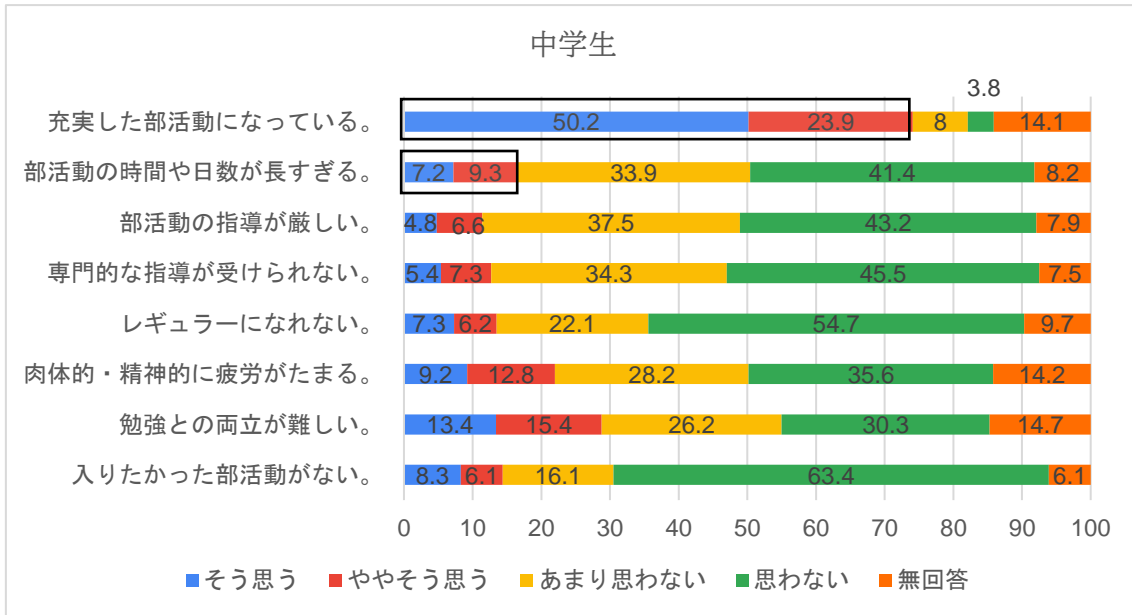
①部活動への所属（または所属予定）状況及び目的



- ・回答した生徒の8割以上が部活動に所属している。
- ・現時点で、小学生の約6割が部活動に所属する予定である。
- ・中学生、小学生、保護者ともに「友達と楽しく活動するため」が最多である。
- ・次いで、「体力や技術を向上させるため」「チームワーク・協調性・共感を味わいたいため」が多くなっている。

児童生徒や保護者の部活動に対する関心の高さがうかがえる。また、戦績等の重視ではなく、部活動の本来の意義を味わうことを目的に活動している、または期待していることがうかがえる。

②現在の部活動について



- ・「充実した活動になっている」の割合は、ともに約 75%
- ・「部活動の時間や日数が長すぎる」の割合は、ともに約 20%
- ・「専門的な指導が受けられない」の割合は、生徒 12.7%、保護者 50.3%

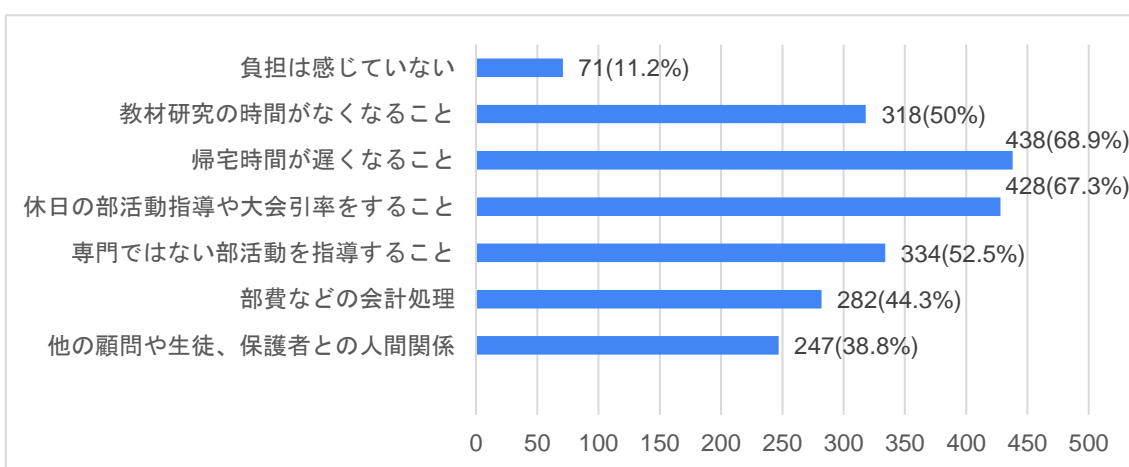
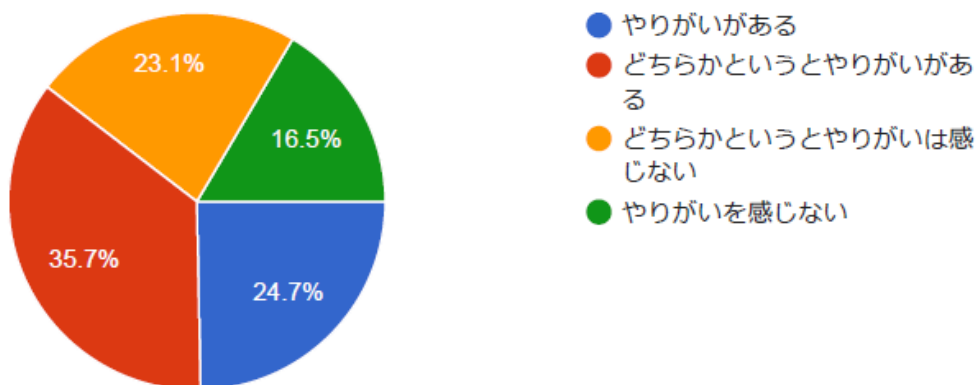
生徒、保護者ともに、概ね現在の部活動が充実した活動になっていることがうかがえる。また、約 2 割が「部活動の時間や日数が長すぎる」との回答があり、部活動の課題の一つに挙げられる。

「専門的な指導が受けられない」では、生徒より保護者の意識が高い傾向にある。

「入りたい部活動がない」では、保護者 33.6%、また、中学生の部活動未加入者の理由では、最多の 41.7%となっている。

(2) 教職員

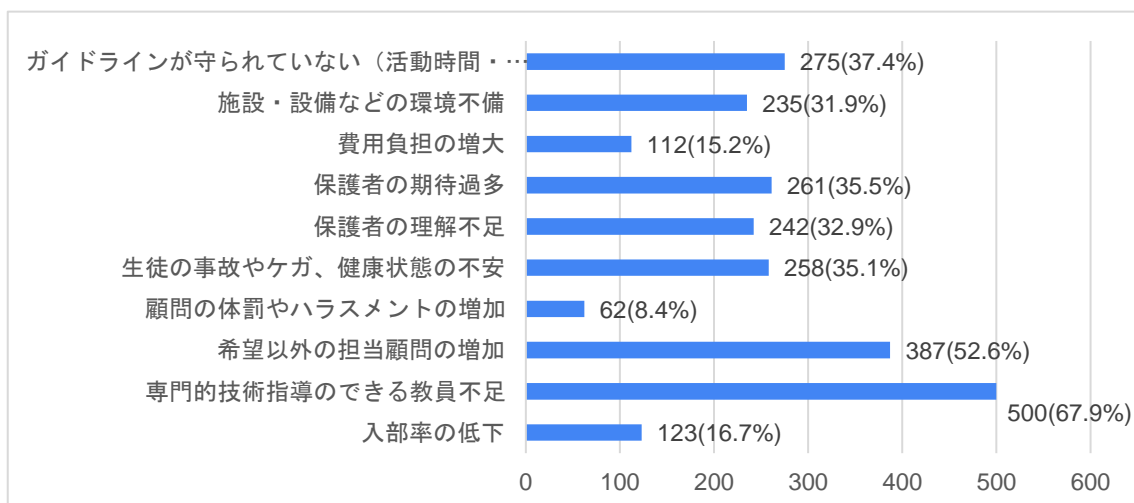
① やりがい及び負担感



約6割の教員が「やりがい」を感じている一方で、平日及び休日の部活動指導により、その他の業務が時間外にずれ込むことや大会引率等で長時間の従事となり、「帰宅時間が遅くなること」に最も多く負担を感じていると考えられる。

また、半数以上の顧問が「専門でない部活動の指導をすること」について、負担を感じている。

② 部活動の問題点



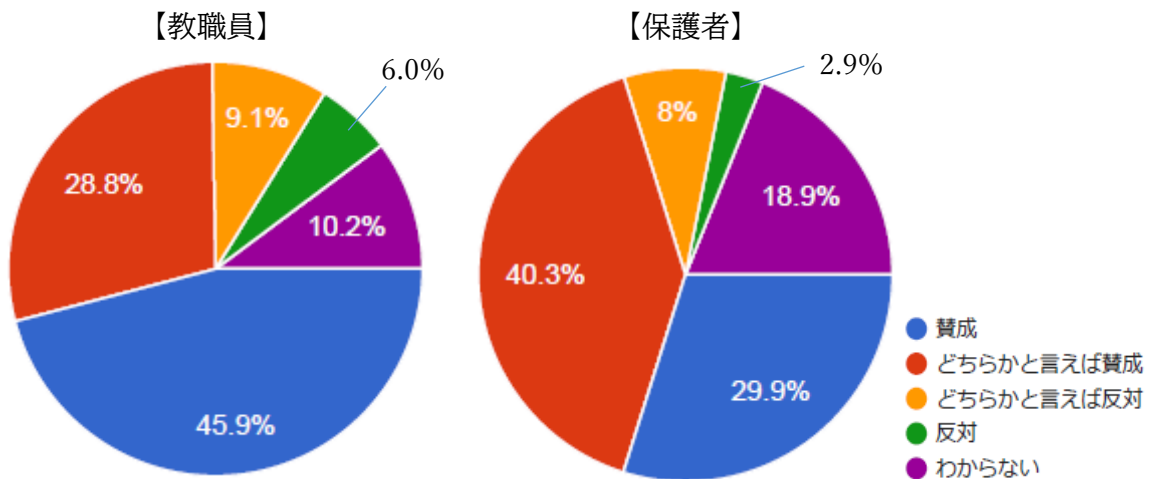
教職員は「専門的な指導ができる顧問不足」や「希望以外の顧問の増加」が最も多く、「専門でない部活動の指導をすること」に問題意識を感じている。

また、活動時間や適切な休養日の設定などの「部活動ガイドラインが守られていない」ことについて、約4割が問題意識を感じている。

Ⅱ. 地域移行に関する意識等

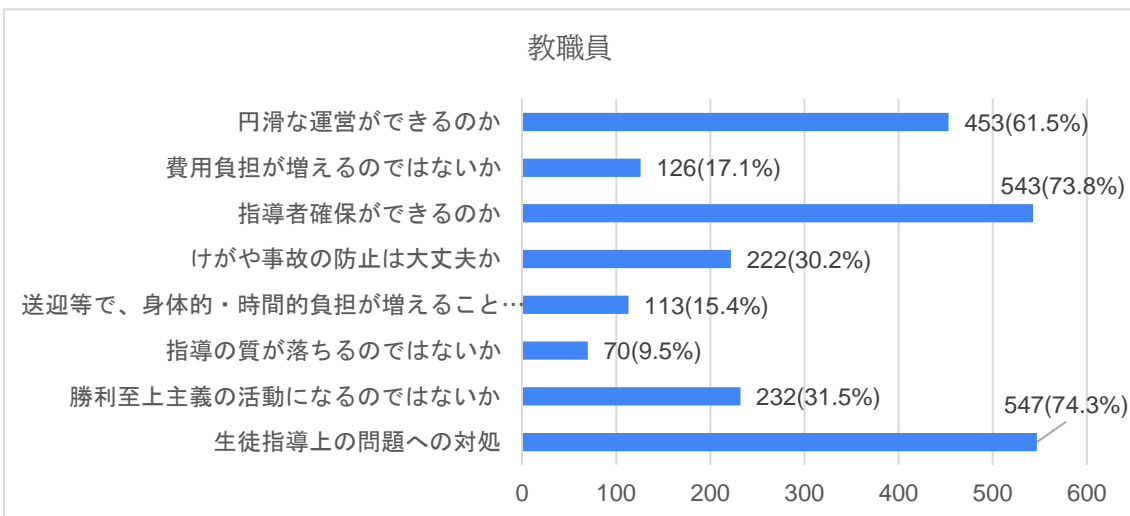
(1) 地域移行への賛否、課題等【教職員・保護者】

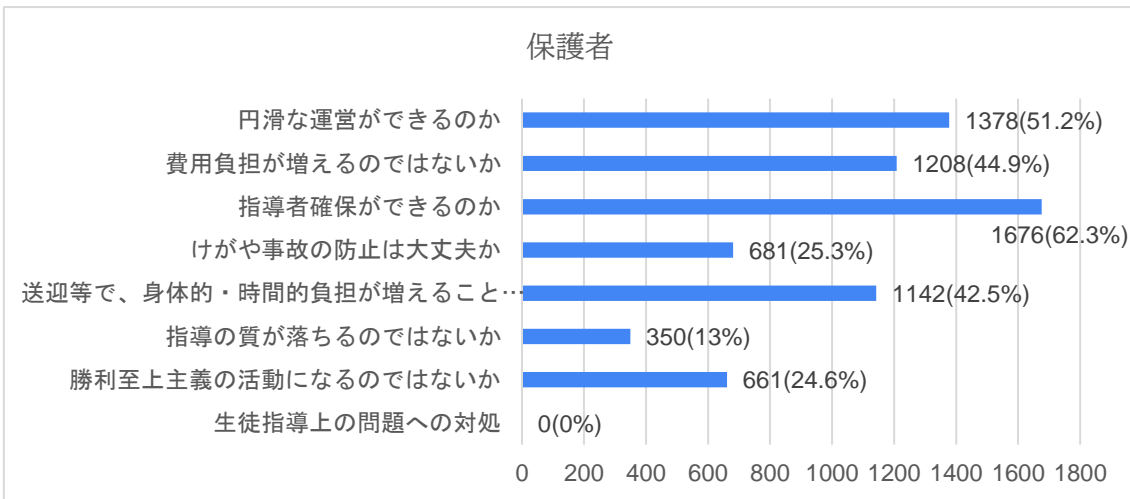
① 休日の可能な部活動から段階的に地域移行を進めること



休日の可能な部活動から段階的に進める岡山市の方針について、教職員74.7%、保護者は70.2%が肯定的な回答をした。

② 地域移行への不安



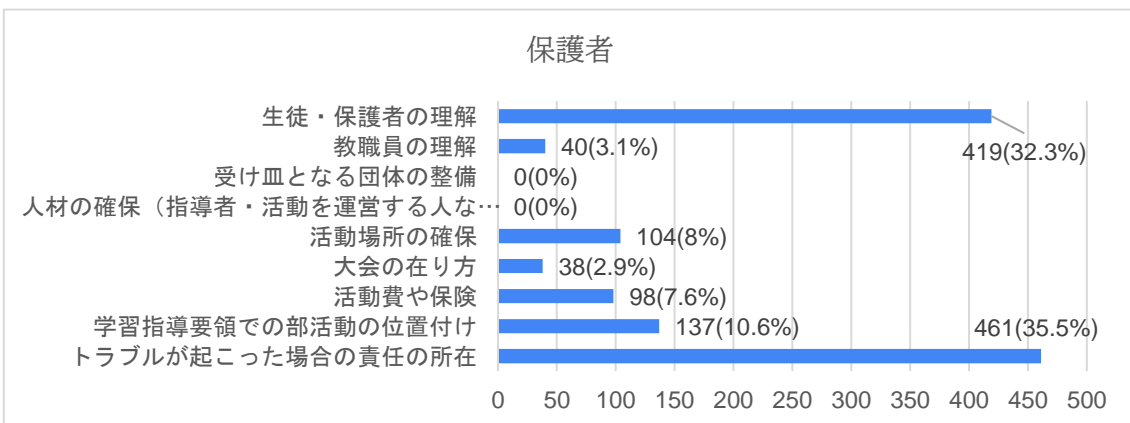
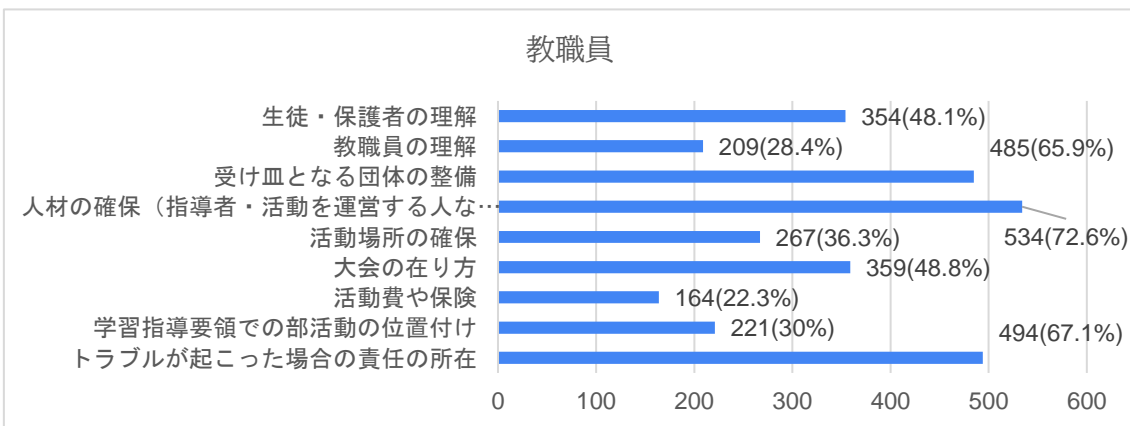


教職員、保護者ともに「指導者確保」「円滑な運営」について多くの不安を感じている傾向がある。

教職員は、顧問が担っていたトラブルへの対処や保護者との連携を含めた「生徒指導上の問題点への対処」について、最も不安を感じている。

また、保護者は、「費用負担が増えるのではないかと」について不安を感じている傾向がある。

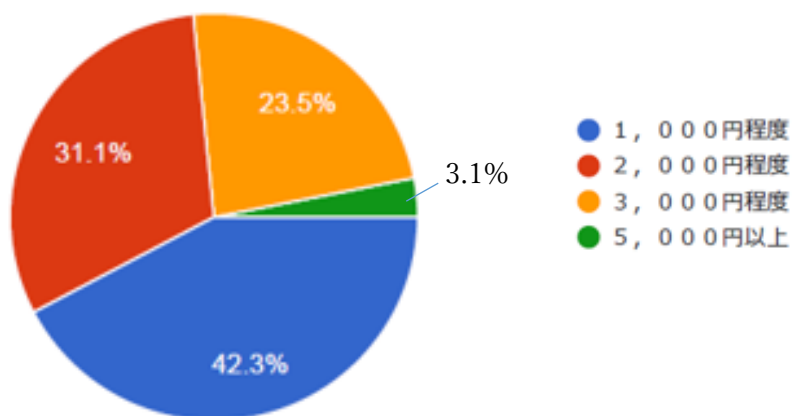
③地域移行の課題



教職員、保護者ともに「トラブルが起こった場合の責任の所在」について多くの課題を感じている傾向がある。

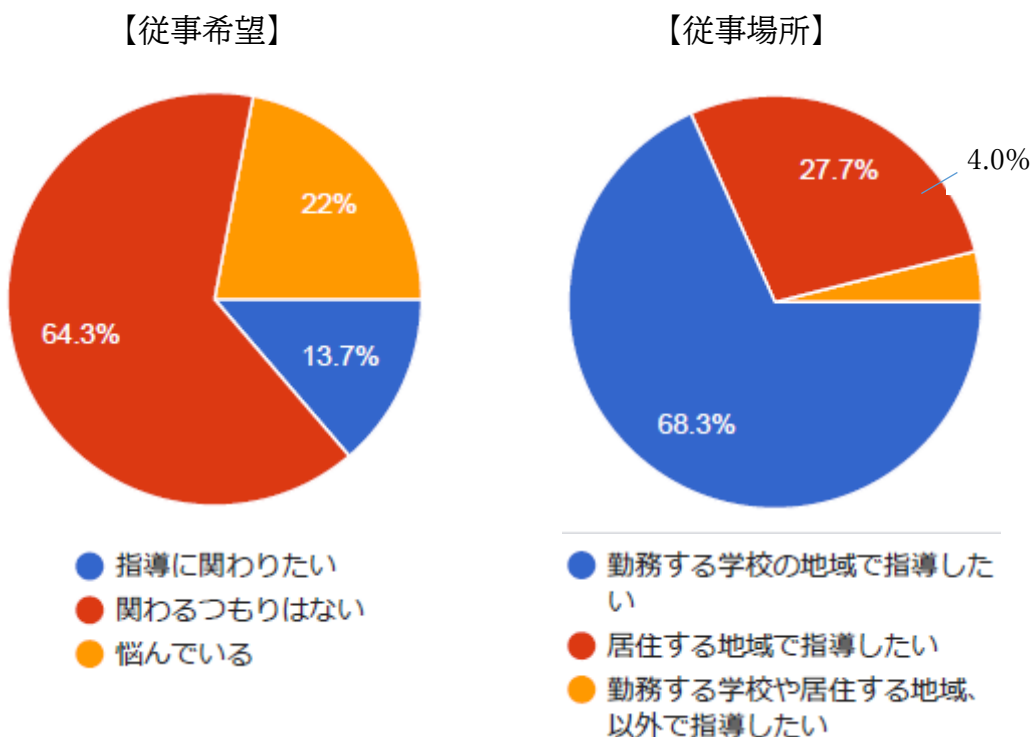
教職員は、「指導者確保」「受け皿団体整備」が上位を占め、保護者は、「生徒・保護者の理解」が上位を占めた。

④費用負担【保護者】



月1,000円程度の負担が42.3%と最も多い回答となった。保護者の意識として、部活動と同程度の費用負担を望んでいる傾向にあると考えられる。

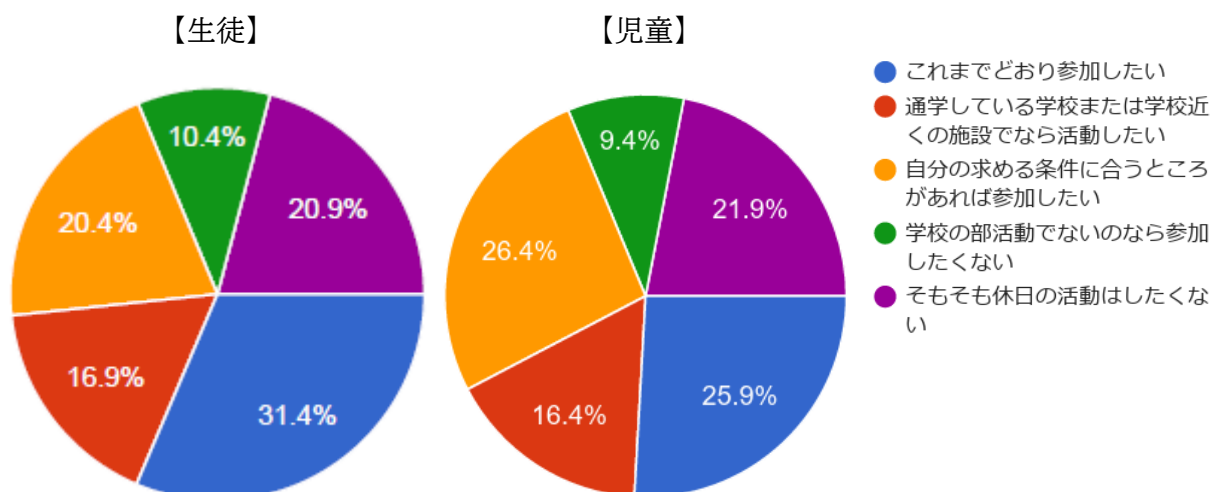
⑤地域で行われる活動への指導従事希望【教職員】



教職員の64.3%が「指導に関わるつもりはない」と回答した。「指導に関わりたい(13.7%)」のうち、「勤務校の地域での指導」を希望する割合が、約7割となった。平日の部活動の連携した指導を望んでいるものと考えられる。

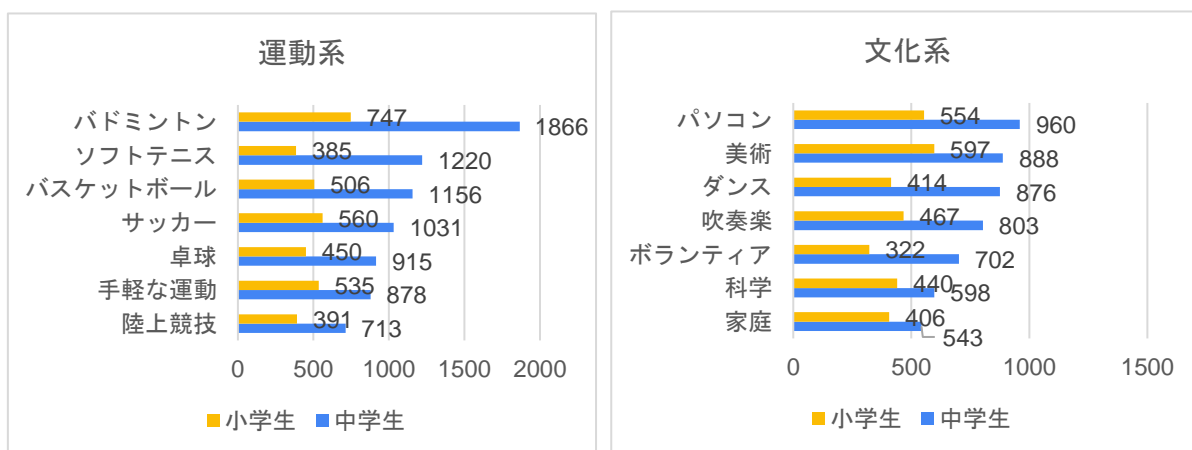
(2) 児童生徒

①地域で行われる活動への参加意思



約7割の児童生徒が「参加したい」と回答しており、部活動の延長として参加する、また、通学している学校や学校の近隣、求める条件に合うところであれば、参加したい傾向にある。

②参加条件及び希望種目



児童生徒は参加条件として、「指導が優しく丁寧」「活動時間が程よい」「同じレベルの人と活動」と回答した割合が多く、楽しく活動したいという思いがうかがえる。

また、希望種目の上位についてのニーズが高いことがうかがえる。

Ⅲ. アンケート調査のまとめ

1. 部活動に関すること

(1) 部活動の現状及び課題意識等

①児童生徒・保護者

- ・入部（希望）状況から、部活動への関心が高い
- ・現在の部活動は、概ね充実した活動となっている
- ▲「活動時間や日数が長い」との意識も少なくない
- ▲希望する活動へ参加できていない現状もある

②教職員

- ・部活動指導にやりがいを感じている教職員が多い
- ▲指導により、帰宅時間が遅い、非専門の指導に負担を感じている
- ▲部活動ガイドラインが守れていないことに問題意識を感じている

(2) 今後の方向性検討の視点

①部活動の在り方について

②働き方改革を踏まえた部活動ガイドライン遵守の取組等

2. 地域移行に関すること

(1) 地域移行への課題意識等

①不安

- ・指導者確保、円滑な運営について
- ・生徒指導上の問題点への対処について（教職員）
- ・費用負担が増えることについて（保護者）

②課題意識

- ・指導者確保、受け皿団体整備について
- ・トラブル時の責任の所在について
- ・生徒、保護者の理解について

(2) 今後の方向性検討の視点

①指導者確保及び研修の在り方

②責任の所在を含めた運営団体の検討

③関係者への取組の説明や周知